

第 63 期 決 算 公 告

2022年6月27日

愛知県半田市広小路町150番地の6

株式会社 名鉄知多バス旅行

取締役社長 金森 隆浩

貸 借 対 照 表

(2022年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	34,220	流 動 負 債	9,266
預 金	3,100	未 払 金	6,122
未 収 入 金	4,019	未 払 費 用	445
短 期 貸 付 金	11,168	未 払 法 人 税 等	313
貯 蔵 品	570	預 り 金	1,298
前 払 費 用	718	賞 与 引 当 金	1,087
そ の 他 流 動 資 産	14,646		
固 定 資 産	45,719	固 定 負 債	3,554
有形固定資産	0	退 職 給 付 引 当 金	3,554
建 物	0		
車 両 運 搬 具	0	負 債 合 計	12,820
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品	0		
無形固定資産	0	(純資産の部)	
電 話 加 入 権	0	株 主 資 本	67,120
投資その他資産	45,719	資 本 金	30,000
投 資 有 価 証 券	20	利 益 剰 余 金	37,120
出 資 金	35,825	そ の 他 利 益 剰 余 金	37,120
長 期 前 払 費 用	0	繰 越 利 益 剰 余 金	37,120
そ の 他 の 投 資	9,874	純 資 産 合 計	67,120
資 産 合 計	79,939	負 債 ・ 純 資 産 合 計	79,939

個別注記表

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券及び出資金の評価方法及び評価基準

出資金・・・・・・・・・・移動平均法による原価法

その他の有価証券

市場価格のある有価証券・・決算日の市場価格等に基づく時価法

市場価格のない有価証券・・移動平均法による原価法

(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) たな卸資産の評価方法及び評価基準

商品・原材料・貯蔵品・・・・・・・・先入先出法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物(建物附属設備を除く)については定額法、その他については定率法

ただし、建物(建物附属設備を除く)については、1998年3月31日以前の取得は、旧定率法、1998年4月1日以降、2007年3月31日以前の取得は旧定額法によっております。建物附属設備及び構築物については2016年4月1日以後の取得は定額法によっております。また、その他については、2007年3月31日以前の取得は、旧定率法を採用しております。

無形固定資産

定額法

なお、自社使用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)による定額法を採用しております。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・・・・・・売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金・・・・・・・・従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額基準により計上しております。

退職給付引当金・・従業員の退職給付に備えるために、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(5) 消費税等の会社処理

税抜方式によっております。

(6) 会計方針の変更に関する注記

「収益認識基準」の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。

以下「収益認識基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

この結果、当事業年度の損益に与える影響はありません。

2. 当期純損益金額

当期純損失 22,353 千円